

## 平成29年度 授業改善推進プラン 低学年

	平成28年度授業改善プランの検証と調査結果の分析 (○はおおむねできていること、△は課題があること)	授業改善策 (○良いところを伸ばすための方策、△課題を解決するための方策)
国 語	<p>○書かれている事柄の順序や場面の様子に気付いて読んだり、進んで文を書いたりすることができる。</p> <p>○進んで、話したり聞いたりしようとする態度が身に付いている。</p> <p>△順序を整理し文章を書くこと、「は」「を」「へ」について課題が残る。</p> <p>△ひらがなの書き順、既習漢字の習熟がさらに必要である。</p>	<p>○図書の時間を活用して、担任が読み聞かせをするなど、たくさんの文章に触れさせる。</p> <p>○話形や姿勢のカードを掲示して、姿勢や口形、声の大きさや速さなどに注意して、はっきりとした発音で話すことができるようにする。</p> <p>△時間や事柄の順序に沿って、簡単な文章の構成で書く練習を繰り返し、個別指導を行う。</p> <p>△確認テストと練習の時間を計画的に設け、継続的に練習する機会をもつようにする。</p>
算 数	<p>○加法・減法の筆算練習に、意欲的に取り組む姿が見られるようになった。</p> <p>○具体物を用いた活動などを通して、長さや体積などの単位と測定について理解できている。</p> <p>△計算の正確さに欠けることがある。ブロックを使えばできる。</p> <p>△文章題を正しく読みとって、立式することに課題が残る。</p>	<p>○継続して意欲的に取り組むことができるよう、課題設定の工夫をする。</p> <p>○プリント学習を通し、言葉や図を用いて長さや体積について、およその見当をつけたり、単位を用いて測定したりできるようにする。</p> <p>△毎時間始めの5分間に計算練習の時間を計画的に設け、プリントを用いて計算の習熟を図る。</p> <p>△ブロックや図を使って考えさせることで、問題の構造を把握し正しく立式できるようにする。</p>
生 活	<p>○動物や植物などの世話を通して、自然に興味をもって取り組むことができる。</p> <p>△植物や動物の変化や成長の様子、自分の関わり方や、その時の気持ちについて自分なりに表現することに課題が残る。</p>	<p>○教室や学級園で動植物を育て、成長していく動植物の変化を日常的に観察させる。</p> <p>△観察したものを記録する際には、視覚や触覚などを使って多面的にとらえることができるよう配慮した観察カードを活用する。</p>
音 楽	<p>○のびのびと歌うことや鍵盤ハーモニカを演奏することができる。</p> <p>△けんぱんハーモニカの指使い、タンギングが課題である。</p>	<p>○様々な歌や楽器にふれる機会をより多くもち、歌や楽器に親しみをもたせる。</p> <p>△個別指導を行う。</p>
図 工	<p>○つくり出す喜びを味わいながら、造形活動を楽しんでいる。</p> <p>△表現したいことに合わせて、はさみ・のりなどの用具を使うことが難しい。</p>	<p>○児童が興味・関心をもつことができる題材を選定する。</p> <p>△用具の使い方の基本を丁寧に確認したり、日常的にはさみやのりを使った作業を意図的に多く設けたりする。</p>
体 育	<p>○仲間と協力して走ることや、ゲームなどに興味をもって取り組む児童が多い。</p> <p>△投げる・捕ることが課題。</p>	<p>○運動が苦手な児童も楽しんで取り組むことができるよう、ルールを工夫する。</p> <p>△投げる・捕る運動を高める遊びを提示し、休み時間や学習の始めに取り入れるようにする。</p>